

**PRESS RELEASE**

## ■内容についてのお問い合わせ

JICA 中国 独立行政法人 国際協力機構 市民参加協力課 梯(かけはし)  
〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内E-mail: [Kakehashi.Taro@jica.go.jp](mailto:Kakehashi.Taro@jica.go.jp) TEL:082-421-6305 FAX:082-420-8082

## サンフレッチェ広島が、9/21（土）アルビレックス新潟戦で ご当地アイドルMMJと国際協力への参加を呼びかけます！

JICA 中国はサンフレッチェ広島と協力して、今年で4回目となる国際協力のイベントを実施します。

平和都市広島から発信する世界平和への思いと共に、J1 チームで日本唯一の「なんとかしなきゃ！プロジェクト」のメンバーであるサンフレッチェ広島が、同じくプロジェクトメンバーである広島のご当地アイドルMMJ（エムエムジェイ）と国際協力への参加に呼びかけます。

## 記

1. **実施日時**： 2013年9月21日（土曜日） 13時00分～午後13時10分（予定）

2. **実施場所**： エディオンスタジアム広島 スタジアム内グラウンド

3. **イベント内容**：

■アルビレックス新潟戦のキックオフ1時間前の13時00分から10分間、「なんとかしなきゃ！プロジェクト」のメンバーであるサンフレッチェ広島とMMJが一丸となって国際協力の重要性をアピールするイベントを実施します。

■**今年のイベントの目玉**は、国際協力啓発キャンペーン「STAND UP TAKE ACTION」。「貧困解決のために、立ち上がることから始めよう」をスローガンとしており、世界中で毎年1億人以上が参加しています。本イベント当日の観客数千人に、MMJのメンバーからこのキャンペーンのアクションを呼びかけ、日本最大の参加者数を目指します。

■その他に、サンフレッチェ広島の佐藤選手が国際協力への想いを語ったビデオメッセージなどの上映を行い、国際協力について「知る・考える・行動する」という一連のアクションを10分間のイベントの中で、スタジアムの観客とともにを行います。

4. **背景・概要**：

■国際協力に関心の高い著名人や、国際機関やNGOなどが、さまざまな場面やメディアで、広く情報を発信することで、ひとりひとりが国際協力について考え、それぞれの立場でできるかたちで国際協力に参加するきっかけとしたい。そんな思いで2010年7月に始まった「なんとかしなきゃプロジェクト」。2013年9月13日時点で、サンフレッチェ広島やMMJの他、王貞治さんや高橋尚子さんなど著名人103名がメンバーになっており、その他一般の方43,670名がサポーターとして本プロジェクトに参加しています。

■サンフレッチェ広島は、「なんとかしなきゃ！プロジェクト」の趣旨に賛同し、2010年よりメンバー団体として登録しています。

■2010年より毎年秋に、JICA 中国とサンフレッチェ広島が協力して国際協力をアピールするイベントを実施しており、4回目となる今年は9月21日（土曜日）、エディオンスタジアム広島で行われるアルビレックス新潟戦で開催します。上記スタジアム内での国際協力アピールイベントに加え、スタジアム外のおまつり広場にJICAブースを設置（午前10時00分～午後2時00分）。開発途上国について楽しく学べ、また国際協力を興味がある人には参加のきっかけとなる場を作ります。

■ご当地アイドルMMJも「なんとかしなきゃ！プロジェクト」に2012年よりメンバー団体として登録しています。

イベント当日の取材についてご検討いただければ幸いです。

以上

別添： 2012年実施の第3回イベントの様子（「なんとかしなきゃ！プロジェクト」HP掲載記事）



日時：2012年9月29日（土曜）

会場：広島ビッグアーチ

「なんとかしなきゃ！プロジェクト」著名人メンバーにサンフレッチェ広島が加盟し、JICA 中国と行うようになった年1回のコラボレーションイベントも今年で3回目。

市民の皆さんに国際協力を知っていただくイベント、サンフレッチェ広島と「なんとかしなきゃ！」が、今年も広島ビッグアーチで開催されました。

### 熱気に包まれる紫のスタジアム

台風が接近し、今にも雨が降りそうな曇天模様の広島ビッグアーチ。ですが、そんな空模様とは対照的に、首位を走るサンフレッチェ広島を応援しようと熱気に包まれた大勢のサポーターがスタジアムを埋め尽くしていました。スタジアムに向かう小道には、今年のサンフレッチェ広島のスローガン「WE FIGHT TOGETHER 2012 団結！！」と書かれた看板が立ち並び、ファンの応援コメントで埋めつくされています。

2012年9月29日、今日の試合はサガン鳥栖戦。スタジアム外のお祭り広場には、朝から紫色のサンフレッチェのウェアを着た大勢のファンが集まり、試合開始までの数時間、ブースのイベントや屋台での食事を楽しんでいました。家族連れも多く、チームが地元ファンに愛されている様子が伝わってきます

### みんなでアフリカダンス！

試合開始60分前、スタンドにはすでに約6,500人のファンが。これまで2回行ったイベントに引き続き、サンフレッチェ広島と広島を拠点とするJICA 中国との10分間のコラボイベントが行われました。JICAのTシャツを着た人々がピッチに飛び出し、アフリカのリズムに合わせてアフリカダンスを披露。躍っているのは広島の青年海外協力隊経験者や、アフリカのガーナ、中米のコスタリカやアジアのバングラデシュといった世界中の国から日本に学びに来ている研修生、それにこのイベントのために「なんとかしなきゃ！プロジェクト」サポーター募集し当選者したみなさんです。地元広島での国際協力の多様なアクターによる楽しい踊りの中、サンフレッチェ広島のクラブマスコット、サンチェとフレッチェも加わって、ステップを踏みました。



## 国際協力のために、今すぐできるアクションから

その後、国際協力のために「今すぐ出来るアクション」として、世界的なキャンペーンである” STAND UP TAKE ACTION” と” Raise Your Hand” が紹介されました。” STAND UP TAKE ACTION” は全世界で毎年行われている貧困をなくすためのキャンペーンで、大勢が立ち上がっている様子がWEBサイトに次々掲載されるものです。

” Raise Your Hand” は今年初の試み。2011年12月に国連で制定され、今年が初年度となる10月11日の「国際ガールズ・デー」。この日にちなんで、世界で未だ学校に通えていない7,500万の女の子のために、「すべての女の子に教育を」というメッセージに賛同して手を挙げた人たちの写真を、国連事務総長に届けることを目的としたキャンペーンです（今年が初の試み）。

「なんとかしなきゃ！プロジェクト」サポーターの代表がこれらのアクションの宣言文を読み、「3、2、1、スタンドアップ！」「レイズ ユア ハンド！！」の掛け声とともに参加を呼び掛けると、スタンドから約3,000人以上の観客が立ち上がり、手を掲げてくれました。



## 国際協力を「知る」きっかけとして

JICAもスタジアム外の広場にブースを出して、「知る」きっかけづくりのお手伝いをしました。来場者に簡単な途上国クイズに参加してもらい、正解者には世界のバッジをプレゼント。また、青年海外協力隊の活動の様子やサンフレッチェ広島がユニフォームを贈ったパラグアイの子供たちからのお礼のメッセージを紹介して、みなさんに世界の一端を伝える活動を行いました。

国際協力の第一歩は「知る」こと。そのきっかけをこのイベントで市民の皆さんに提供できたのではないのでしょうか。

以上